

# 新型コロナウイルス感染症の流行による利用者の減少

## ① 国立青少年教育振興機構について

平成30年度と令和3年度を比較すると**利用者が約368万人（宿泊は約197万人、日帰り171万人）減少**

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
宿泊利用者数	255万人	235万人（△8.0%）	31万人（△87.9%）	58万人（△77.3%）
日帰り利用者数	250万人	230万人（△7.8%）	61万人（△75.5%）	79万人（△68.4%）
合計	505万人	465万人（△7.9%）	92万人（△81.8%）	137万人（△72.9%）

※国立青少年教育振興機構の28施設の合計値

## ② 公立青少年教育施設について

2020年4月27日現在で**合計約106万人分のキャンセルが発生**

項目	キャンセル数	備考
新型コロナウイルス感染症の流行により、 <b>令和2年3月末まで</b> の利用でキャンセルになった人数 （受入れ停止によるキャンセルも含む）	約30万人	回答のあった212施設の合計 2020年4月27日時点での見込みであり、 見込んだ期間は施設により異なる。
新型コロナウイルス感染症の流行により、 <b>令和2年4月以降</b> の利用でキャンセルになった人数 （見込みも含む）	約76万人	回答のあった220施設の合計 2020年4月27日時点での見込みであり、 見込んだ期間は施設により異なる。
合計	約106万人	

※「新型コロナウイルス感染症流行下における公立青少年教育施設の運営に関する現状調査」（国立青少年教育振興機構）

【調査対象】青少年活動場所ガイドに掲載している公立青少年教育施設のうち、メールアドレスを把握している施設467施設（回収数267施設：回答率57.1%）

【調査期間】2020年4月27日（月）～5月12日（火）16日間

【調査方法】ウェブ調査※各施設にアンケートフォームのURLをメールで送信

【調査内容】2020年4月27日現在の状況について回答